

居ながら補強と採光確保 外付けブレース補強

外付けブレース補強は、鉄筋コンクリート造あるいは鉄骨鉄筋コンクリート造建物の外側の柱梁フレームに貼り付けるように取り付けることで耐震補強工事を完了させることができる。

また、作業は全て外部となるため建物の使用と平行作業で居ながらでの補強と、さらに採光についても現状の採光面積と概ね同程度を確保できる補強方法である。

【特徴】

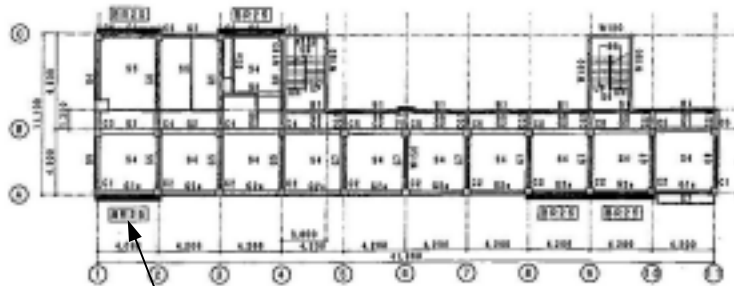
- 工場製作の鉄骨ブレース部材で、短期間に建物の外側から補強
- 外側だけの補強で、室内レイアウトの変更不要
- 鉄骨部材があるため、室内からの通風、採光を確保



建物全景

【機能・性能】

- (財)日本建築防災協会の「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説(平成2年度版)」に準拠して δ 値0.6以上を確保
- 外付けブレースについては(財)日本建築防災協会の「外側耐震改修マニュアル」に準拠

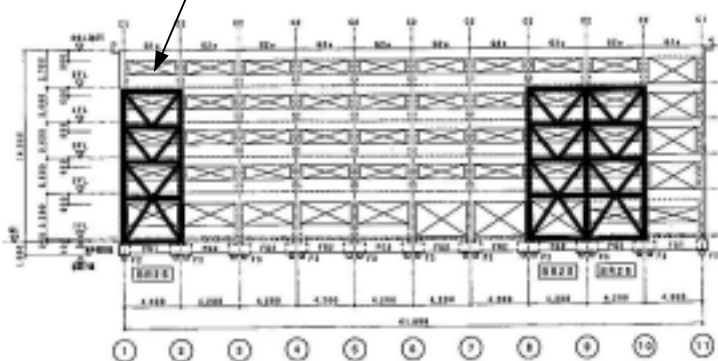


代表階平面図

居ながら補強の実現と採光確保のための
外付けブレース補強

【建物概要】

- 所在地: 愛知県常滑市
- 主用途: 共同住宅
- 建築面積: 462 m²
- 延床面積: 1,853 m²
- 階数: 地上5階/地下一階
- 構造種別: 鉄筋コンクリート造
- 標準工期: 3.0 ヶ月
- 標準工費: 約 6,800 万円
(その他付帯工事含む)
- 採用補強法: 外付けブレース補強



軸組図